

環境行動計画／実績

「富士通フロンテックグループ環境方針」を定め、
本方針および「富士通グループ環境行動計画」に基づき
「富士通フロンテックグループ環境行動計画」
を策定し、実践しています。

第11期環境行動計画 (2023～2025年度)

カテゴリー	目標	対象範囲 (＊1)	2024年度			2025年度
			指標	実績	判定	指標
気候変動	事業拠点のGHG排出量の削減 ・事業拠点の温室効果ガス(GHG)排出量を2025年度末までに2020年度比で30%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	4,662 トン-CO ₂ 以下 (-20%以上)	3,318 トン-CO ₂ (-43%)	達成	4,079 トン-CO ₂ 以下 (-30%以上)
	再生可能エネルギーの適用拡大 ・電力における再生可能エネルギー利用率を2025年度末までに37.2%へ拡大する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC FDTP FFNA	24.6%	26.2% (61.4%) ＊2	達成	37.2%
	製品の使用時消費電力によるCO₂排出量の削減 ・製品の使用時消費電力によるCO ₂ 排出量を、2025年度末までに従来機比で12.5%以上削減する。	本社・東京工場	12.5%以上	27%	達成	12.5%以上
資源循環	サーキュラーエコノミー型ビジネスモデルに資する製品・サービスの開発 ・省資源化・資源循環性の向上を意識した製品・サービスを開発する。	本社・東京工場 熊谷SSC	省資源化・資源循環性の向上を意識した製品・サービスの開発 (＊3)	選定済案件(2件)で取り組み推進中	達成	省資源化・資源循環性の向上を意識した製品・サービスの開発
	プラスチックごみ発生量の削減 ・プラスチックごみ発生量を2025年度末までに2019年度比で19%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	63,000kg以下 (-19%以上)	60,122kg (-23%)	達成	63,000kg以下 (-19%以上)
SDGs	SDGs貢献ソリューションの開発・提供 ・SDGs貢献ソリューションを2025年度末までに累計15件以上開発する。	本社・東京工場 熊谷SSC FJFS その他開発拠点	累計10件以上	累計17件	達成	累計15件以上
	良き企業市民としての活動 ・地域社会との協同で、社会貢献活動および生物多様性保全活動を推進する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC FJFS	60件以上	101件	達成	60件以上

＊1：熊谷SSCは熊谷サービスソリューションセンター、FJFSは株式会社富士通フロンテックシステム、FDTPはFujitsu Die-tech Corporation of the Philippines、FFNAはFujitsu Frontech North America Inc.の略称。
＊2：国内の再エネのみを反映した実績、()内は海外の再エネを含めた実績。
＊3：一律の指標は設けず、幅広い観点から省資源化・資源循環性の向上を意識した製品・サービスを開発する。目標期間終了後、その具体的成果を評価する。

第10期環境行動計画 (2021～2022年度)

カテゴリー	目標	対象範囲 (* 4)	指標	結果	判定
気候変動への対応 (脱炭素)	事業拠点のGHG排出量の削減 ・事業拠点の温室効果ガス (GHG) 排出量を2022年度末までに2013年度比で24%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	6,057 トン-CO ₂ 以下 (-24%以上)	4,876トン-CO ₂ (-38%)	達成
	再生可能エネルギーの導入 ・電力における再生可能エネルギー利用比率を2022年度末までに8%へ拡大する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC FDTP FFNA	8%	9.1% (26.7%)	達成
	製品の使用時消費電力によるCO₂排出量の削減 ・製品の使用時消費電力によるCO ₂ 排出量を2022年度末までに2013年度比で15%以上削減する。	本社・東京工場	15%以上	15.4%	達成
資源循環の促進	製品の省資源化・資源循環性向上の推進 ・新製品の資源効率を2022年度末までに2019年度比で10%以上向上させる。	本社・東京工場	10%以上	11.8%	達成
独自設定テーマ	廃棄物発生量の削減 ・廃棄物発生量を2022年度末までに2012～2014年度平均の27%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	299 トン以下 (-27%以上)	227トン (-45%)	達成
	SDGs貢献ソリューションの開発・提供 ・SDGs貢献ソリューションを2022年度末までに累計10件以上開発する。	本社・東京工場 熊谷SSC 大宮SC・FJFS	累計10件以上	累計16件	達成
	良き企業市民としての活動 ・幅広い社会貢献活動を推進する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC 大宮SC・FJFS	40件以上	71件	達成

* 4 : 大宮SCは大宮ソリューションセンターの略称。

第9期環境行動計画 (2019～2020年度)

カテゴリー	目標	対象範囲	指標	結果	判定
気候変動	事業拠点のGHG排出量の削減 ・事業拠点の温室効果ガス(GHG)排出量を2020年度末までに2013年度比で8%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	7,236 トン-CO ₂ 以下	5,827 トン-CO ₂	達成
資源循環	製品の省資源化・資源循環性向上の推進 ・新製品の資源効率を2020年度末までに2014年度比で20%以上向上させる。	本社・東京工場	20%以上	24%	達成
	廃棄物発生量の削減 ・廃棄物発生量を2020年度末までに2012～2014年度平均の27%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	301 トン以下	241 トン	達成
サプライチェーン	製品の使用時消費電力によるCO₂排出量の削減 ・製品の使用時消費電力によるCO ₂ 排出量を2020年度末までに2013年度比14%以上削減する。	本社・東京工場	14%以上	17.2%	達成
SDGs	ICTサービスを通じたSDGsの達成への貢献 ・ICTビジネスを通じてSDGsの達成に貢献する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC 大宮SC・FJFS	33件以上 (* 5)	68件	達成
	[独自設定] 気候変動対策や生物多様性保全に係る良き企業市民としての活動 ・社員が社会とともに取り組む、社会貢献活動を支援する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC 大宮SC・FJFS	53件以上	60件	達成

* 5 : ①SDGsに関する理解の向上、②お客様とのコミュニケーション、③ソリューションのSDGs事例化、発信の取り組み 計3テーマのアクションアイテムの総数。

第8期環境行動計画 (2016～2018年度)

カテゴリー	目標	対象範囲	指標	結果	判定
社会への貢献	ICTの提供により、社会の持続可能な発展に貢献する。 ・環境貢献ソリューションを2016年度から2018年度末までに14件以上開発し、「社会の持続可能な開発目標(SDGs)」に貢献する。	大宮SC・FJFS	14件以上	20件	達成
	製品のライフサイクルにおける環境価値の向上(エネルギー効率) ・2016年度から2018年度に開発する新製品の50%以上をエネルギー効率トップレベルにする。	本社・東京工場	50%以上	50% (*6)	達成
	製品のライフサイクルにおける環境価値の向上(資源効率) ・2016年度から2018年度に開発する新製品の資源効率を15%以上向上する。	本社・東京工場	15%以上	89% (*7)	達成
自らの事業活動	事業拠点の温室効果ガス排出量を削減する。 ・事業所における温室効果ガス排出量を2018年度末までに2013年度実績以下に抑制する。	本社・東京工場 新潟工場	5,368 トン-CO ₂ 以下	4,941 トン-CO ₂	達成
	廃棄物発生量を2012～2014年度の平均以下に抑制する。 ・廃棄物発生量を2018年度末まで2012年度～2014年度の平均比20%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場	235 トン以下	182 トン	達成
独自設定テーマ	気候変動対策や生物多様性保全に係る良き企業市民としての活動 ・社員が社会とともに取り組む、社会貢献活動を支援する。	本社・東京工場 新潟工場 大宮SC・FJFS	52件以上	69件	達成

*6：対象8製品中4製品がエネルギー効率トップレベル。

*7：対象5製品において向上した資源効率の平均値。